

令和4年度 崎辺中学校 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

1 学校名・所在地及び校長名

佐世保市立崎辺中学校 佐世保市天神町1706番地 校長 古庄 忍

2 学級数と生徒数

1学年	3クラス	81名	
2学年	2クラス	72名	令和4年5月1日現在
3学年	2クラス	67名	計10クラス 229名
特別支援	3クラス	9名	

3 本年度の「特色ある学校づくり」の取組

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 花いっぱい活動 | (3) 福祉体験学習 |
| (2) 講演会 | (4) 標準学力検査 |

4 実践内容

(1) 花いっぱい活動

崎辺中学校で、毎年取り組んでいる活動である。この活動により、情操的な教育活動や環境教育活動が展開でき、生徒に自然を愛し生き物を大切にする心を育てたい。



(2) 講演会

地域の方や外部からの講師を招聘し、講演会を実施した。直接、印象に残る話を聞くことで生徒の意識に残ったと感じた。また、集団で聞く姿勢や感想とお礼を書くことで礼儀の学習にもなっている。講師の方々とのつながりもできた。

- ① 7月20日 性教育講演会（1，2学年）・・・長崎県看護協会
- ② 9月27日 デートDV防止教室（3学年）・・・国際ソロプチミスト佐世保
- ③ 10月27日 福祉の基礎講座・伝道師講話（2学年）
・・・佐世保県北圏域介護人材育成確保対策地域連絡協議会
- ④ 11月 2日 薬物乱用防止教室（2学年）・・・佐世保ライオンズクラブ
- ⑤ 11月16日 マナー講座（2，3年生）・・・菅公学生服株式会社



(3) 福祉体験学習

例年、地域の方々20名を招いて、「人生の先輩方に学ぼう」と題し、紙飛行機、囲碁、竹とんぼ、石垣団子作り、お手玉、グランドゴルフなどを通して交流を続けてきたが、コロナ禍のこともあり、健康面に配慮して、地域の方々への手紙を作成して間接的な交流を実施した。また、介護の仕事について、グループホームや介護士の方を講師に迎えて直接話を聞き、福祉について理解を深めた。



(4) 標準学力調査

佐世保市の「学力調査」が年に1回、1学年を対象に実施され、生徒の学力分析の一資料としているが、本校では、1月に2回目の「学力調査」を1、2学年で実施して1年間の学習状況を分析した。これを踏まえ、次年度に向けて、残りの授業を見直し、学力の向上に効果的な学習指導の一助とした。

(5) その他

教育相談活動を充実させるため、相談員の来校回数を増やし、多くの生徒が落ち着いた気持ちで学校生活を過ごせるように、相談室の運営計画を見直し改善した。

5 成果と課題

今年度もコロナ禍の影響で、当初予定していた計画を縮小し実施せざるをえなかった。中でも、感染状況を確認しながら、必要な感染防止策を講じて、実施可能な体験活動や講演会を行い、また学力向上を図る手立てを講じたことで、生徒は活力ある学校生活を送り、全国学力調査等から学力が向上した教科も確認できた。また、コロナ禍の中、間接的な地域との交流を通して、学校と地域のつながりも深めた。さらに、学校生活に不安を抱えて過ごす生徒にも手立てを講じ、不登校の解消や生徒の問題行動の未然防止に繋がった。生徒は学校教育目標がめざす生徒像に近づいたと考える。

今後の課題としては、感染症の終息を見据えて、生徒の基礎基本の学力の定着を図るために、主体的に学習に取り組む環境づくりとそれを実践するための研修を深め、更なる学力向上につなげていきたい。また、学校評価の結果を受けて、心豊かで遅しく、落ち着いた生活ができるように、様々な取組を仕組んでいきたい。